

# 資料室二ユース

2021年9月号

編集・発行：一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会（豊中市委託事業）

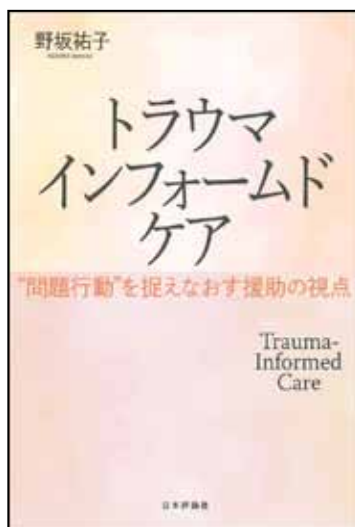
## 購入図書（2021年7月～8月分）

- ・下手くそやけどなんとか生きてるねん。薬物・アルコール依存症からのリカバリー（現代書館 渡邊洋次郎 P232）：1,980円



【内容】中学生のときに不良グループから強制的にシンナーを吸わされ、鑑別所、少年院へ。18歳でホストになったことをきっかけに酒に溺れ、アルコール依存症等で精神病院への入退院は48回。30歳で窃盗などで刑務所にも3年間服役。末期がんの父親の最期にも立ち会わず仲間と薬物にふけり、家族とも断絶。出所後、「リカバリハウスいちご」とつながり、ピアカウンセリングや就労支援を受け、10年以上をかけて少しずつ回復。現在は、同団体員として働いている。当事者の立場から、アルコール・薬物依存の治療の場である精神科医療の閉鎖病棟、保護室、拘束帯など、様々な人権侵害を指摘。依存症回復者が地域社会で生きる際の課題、家族・医療者・支援者の心構え、日本の依存症対策の問題点なども列挙。

- ・トラウマインフォームドケア“問題行動”を捉えなおす援助の視点（日本評論社 野坂祐子 P192）：2,420円



### 【内容】

「非難・叱責」を「理解・ケア」に変える、対人援助の新しい視点。児童福祉、教育、医療、矯正などのさまざまな現場で援助職がしばしば出会う、支援対象者の“困った”言動。自他を傷つけ、周囲を悩ませるそうした“問題行動”の背景には、トラウマという「こころのケガ」が隠れているかもしれません。トラウマインフォームドケア（TIC）は、対象者の言動をトラウマの「メガネ」で見ることから始めるアプローチです。暴言や暴力、怠惰や無気力、嘘やごまかしなどを“問題行動”と捉えると、支援者は相手を叱責したり、拘束したり、追い立てたり、非難したりしてしまいます。支援者自身も、傷つけられたり、裏切られたと感じたりして、無力感を抱きやすくなります。しかし、そうした言動が表れた状況を探っていくと、何らかのきっかけ（リマインダー）によるトラウマ反応である可能性が見えてくるかもしれません。トラウマの「メガネ」をかけることで、ケースの見え方が変わり、安心・

てくるかもしれません。トラウマの「メガネ」をかけることで、ケースの見え方が変わり、安心・

安全の提供へとケアがありかたが変わっていきます。臨床現場で新たな傷つきが生じることを防ぐために、すべての対人援助職が身に着けておくべき公衆衛生的アプローチがTICです。



・他者の靴を履く アナーキック・エンパシーのすすめ  
(文藝春秋 ブレイディみかこ P304)：1,595 円

【内容】

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』に次ぐ「大人の続編」本。

「わたしがわたし自身を生きる」ために——

エンパシー（＝意見の異なる相手を理解する知的能力）×アナキズムが融合した新しい思想的地平がここに。



・子どもたちがつくる町 大阪・西成の子育て支援（世界思想社 村上靖彦 P270）：2,750 円

【内容】子どもの未来を考える、すべての人へ。「日雇い労働者の町」と呼ばれる大阪・西成（にしなり）。生活保護受給率は、23%にのぼります（2019年）。

西成の労働者やホームレスの人たちについては、これまでもたくさん注目されてきました。

でも、この本が描くのは、西成の子どもたちと、かれらを支える大人たちです。

このしんどい町の、ゆたかな支援の秘訣とは？

人権文化まちづくり講座

## 「プリズン・サークル」

参加  
無料

10月9日（土）① 10時～ ② 14時～

会場：人権平和センター豊中

定員：各 200 人（要申込）



申込ページ

問い合わせは（一財）とよなか人権文化まちづくり協会まで



### 資料室の利用方法

図書の貸出は1回につき原則3週間、5冊までです。期限は厳守してください。

貸出カードに名前、住所をご記入ください。電話、FAX、メールでも受け付けています。

連絡便での貸出・返却が可能です。貸出中の場合はご了承ください。

〒561-0884 豊中市岡町北3-13-7

Tel：06-6841-5300 FAX：06-6841-6655 mail:bwz37306@nifty.com

